

北海道胆振家畜保健衛生所



〒059-0462

北海道登別市富浦町4丁目3番地

電話：0143-85-3231

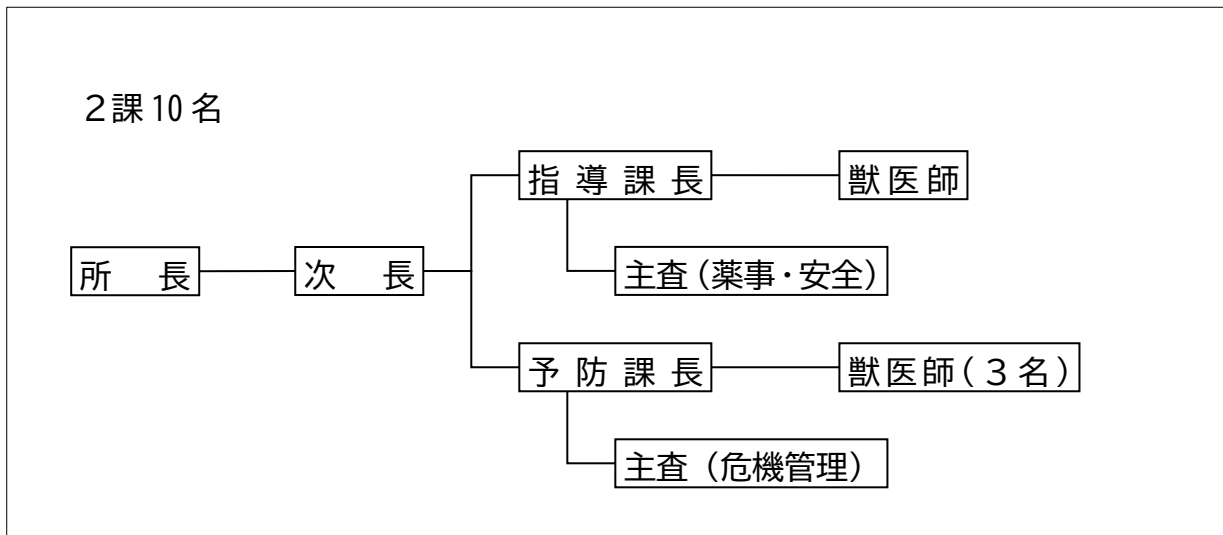
FAX：0143-85-1562

北海道胆振家畜保健衛生所の概要

1 沿革

- 昭和25年(1950年)11月 北海道胆振家畜保健衛生所を設置。
- 昭和27年(1952年)4月 北海道胆振家畜保健衛生所を廃止し、北海道室蘭家畜保健衛生所及び苫小牧家畜保健衛生所を設置。
- 昭和41年(1966年)4月 北海道室蘭家畜保健衛生所と苫小牧家畜保健衛生所を統合して、北海道胆振家畜保健衛生所を設置。次長を配置。
[昭和52年(1977年)8月 有珠山噴火]
- 昭和55年(1980年)3月 庁舎を現在の場所に新築移転。
- 昭和59年(1984年)4月 主査(動物薬事)を新設。
- 平成6年(1994年)4月 (旧)次長を廃止し、(新)次長を管理職として配置。
[平成12年(2000年)3月 有珠山噴火]
- 平成12年(2000年)4月 主査(安全指導)を配置。
- 平成24年(2012年)4月 指導課と予防課を新設。
主査(安全指導)を廃止。
主査(薬事・安全)と主査(危機管理)を配置。
[平成30年(2018年)9月 北海道胆振東部地震]

2 機構



3 家畜保健衛生所の業務

家畜保健衛生所は、家畜伝染病の発生の予防やまん延を防止するために、家畜伝染病予防法等の法律に基づき、検査や防疫業務を行っています。また、安全な畜産物を生産するため、家畜飼養者への衛生指導等を実施しています。

○予防業務：家畜の伝染病の発生予防及びまん延防止

- ・家畜の伝染病を予防するための検査、衛生指導等
- ・伝染病が発生した際の防疫措置
- ・輸入及び移入家畜の着地検査



○指導業務：生産性の向上、安全な畜産物生産

- ・生産性向上のための原因検索及び対策実施
- ・安全な畜産物生産のための指導
- ・家畜衛生に関する広報誌の発行
- ・獣医師の診療に関する指導
- ・動物用医薬品の適正管理や販売の指導



○病性鑑定業務：家畜の病気の診断

- ・疾病及び死亡原因究明のための検査
- ・疾病浸潤状況把握のための検査
- ・販売、移動のための健康確認

4 胆振管内の特色

胆振地域は北海道の中東部に位置し、4市7町で構成されています。北海道の中でも雪が少なく温暖な地域を生かした農業や噴火湾・太平洋での漁業も盛んです。

畜産では、多数の家畜が飼養されており、特に家きんの飼養羽数は全道一位、豚の飼養頭数は全道二位となっています。また、軽種馬の生産も盛んで、多くの名馬を輩出しているほか、「白老牛」をはじめとする肉用牛の飼養頭数も増加傾向にあり、毎年、国内最大のサラブレッド競り市「セレクトセール」や全道規模の家畜共進会が開催されています。

胆振管内の家畜飼養頭羽数 [令和5年(2023年)2月現在]

	乳用牛	肉用牛 (繁殖)	肉用牛 (肥育)	豚	採卵鶏	肉用鶏	その他の 家きん	馬	めん羊	山羊
戸数	95	231	54	27	73	29	12	113	21	16
頭羽数	8,548	19,996	14,665	115,151	2,022,355	3,582,387	62,807	4,586	218	36

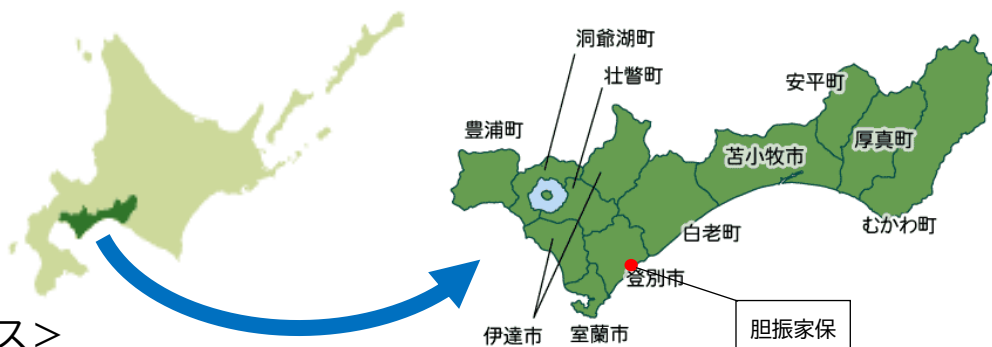
観光の面では、洞爺湖や登別といった北海道を代表する温泉地を抱えるほか、室蘭市ではイルカ、鯨ウオッチングや工場夜景クルーズも楽しめます。

また、令和2年(2020年)には、白老町にアイヌ文化復興・発展の拠点となる民族共生象徴空間「ウポポイ」がオープンし、さらに、令和3年(2021年)7月には、管内の北黄金貝塚(伊達市)、入江貝塚(洞爺湖町)及び高砂貝塚(洞爺湖町)を含む北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産に登録されたことにより、ますます観光の需要が高まっています。



洞爺湖(洞爺湖町、壮瞥町)

このほか、白老牛を堪能できる牛肉まつり(7月)、むろらん港まつり(7月)、昭和新山国際雪合戦(2月)など楽しみなイベントが盛りだくさんです。



<アクセス>

○公共交通機関

鉄道 札幌-登別 特急で約1時間20分

新千歳空港-(南千歳乗換)-登別 特急で約1時間

函館-登別 特急で約2時間20分

都市間バス 札幌-登別 2時間48分

新千歳空港-登別 約1時間

JR登別駅前から
道南バス11分
「すずらん団地」下車

○自動車

札幌方面から 道央自動車道 登別東IC下車

函館方面から 道央自動車道 登別室蘭IC下車